

11月29日18:30
区民要求実現大集会
練馬文化センター小ホール

練馬労連

発行所：練馬区労働組合総連合
練馬区中村北1-6-2
東京土建練馬支部内
電話03-3825-7146
fax 03-3825-7117



冒頭挨拶を行なう掛端議長

練馬労連第19回大会 活発な討論で方針を確立しました

10月29日(土)
練馬勤労福祉会館で開
催しました。

都教組練馬の金田さ
んの司会のもと、議長
団に教宣文化社分会の
佐藤代議員、都教組練
馬の樋田代議員を選出
し、お二人で大会運営
を行ないました。

議事運営委員会、資
格審査委員会、選挙管
理委員会、等の役員も
拍手で選出確認されま
した。

代議員は、26組合、
42人の参加で行なわ
れました。来賓も、ご
多忙中にも関わらず6
人参加されました。

冒頭、掛端議長が、
次のように挨拶しまし
た。

新しい日本、新しい
練馬をつくる為、労働
者の地位が確立できる
様な、活発な討論を。

3・11以降、政府
の対応が後手後手に回
り、被災地の復讐が遅々
として進まない、地域
経済がストップし仕事
がない状態が続き、い
たるところで、労働者
は窮地に立たされている
。今の、政治の進め
方では、我々の生活が
ことごとく破壊されて
しまう。何とかしなけ
ればならないと、語気
を強め、更に、TPP
参加に触れ、政府やマ
スコミは「TPPに参
加しなければ、遅れを
とる、遅れをとる」と
大騒ぎをし、「TPP
に参加しないと、日本
は駄目になってしまっ
てくじやないか」と国民
が、考えてしまう様な
報道ばかりを繰り返し
ているが、それは、逆

ではないのか、それに、
「TPPに参加したら、
一体何が残るのか？」
政府は、そのことにつ
いて何も言っていない
と、怒りをもって語り
ました。

練馬労連にも、こう
した情勢を受け、労働
相談が多くなっている
という現状を紹介し、
私達が、安心、安全に
暮らして行ける様にす
るためには、

自分達の足をしっ
かりと見据え、しっか
りとした運動の輪を大
きく確かなものへと拡
げて行かなければなり
ません。共に頑張つて
まいりましょう。と、
主催者を代表し、挨拶
しました。



東京地評労働政策局長影山さん

来賓として、東京地評
の影山さんは、福島原
発事故への政府、東電

の対応のずさんさ、国
家公務員の賃金の削減
などに触れ、全ての改
悪と闘って行く為に、
未組織労働者の組織化
が重要であると語り、
春闘を共に頑張つてま
いりましょうと挨拶さ
れました。

練馬区労協の松澤事務
局長は、先の対区交渉
に触れ、練馬区は区民
の立場ではなく、国の
側に立った回答ばかり
が目立っている。練馬
区民の要求を実現する
為の運動に11・29
区民要求実現練馬大集
会があります。皆様の
ご参加をお願いしたい。
春闘にむけて共に闘い
ましょう、



日本共産党松村さんと米沢区議

日本共産党の、松村さ
んと、米沢さんは、練
馬労連の大会スローガ

ンに沿った闘いに、協
力共同しTPP参加
大増税を始めとした、
亡国の政治にたいして、
共に闘ってまいりましょ
う。と挨拶しました。

また、「さよなら原
発の北部集会」の実行
委員長の菊池紘弁護士
から、政府の対応、東
電のやらせの問題に対
し、巷では、「うそつ
きは原発の始まり」と
囁かれはじめている。
とそのやり方を一刀両
断。更に、11月27
日開催の穂区集会への
参加を訴えました。



頭張つ藤田さん
で闘争闘争裁

争議団から、日本航
空の不当解雇で裁判闘
争をで闘っている藤田
さんから解雇撤回と空
の安全のために共に闘
いましょう。ご支援を
よろしくと挨拶があり
ました。

討論(発言要旨)



東映動画労組 千田代議員

職場復帰が出来た

裁判と平行して行なわれていた、会社との自主交渉が結実、和解し、会社に無事復帰することができた喜びの報告と、労連始め関係者の方々に對して感謝の言葉があり、これからも、様々な形で、皆さんと共に闘って行きたい。



東京土建練馬支部 磯野代議員

勝利するまでやるぞ!

現在、労災問題を中心に運動を展開している。来年1月に横浜で結審を迎えるアスベスト公判の為の署名のお願い。全ての建設アスベ

ト訴訟の関係者が勝利するまで闘い続ける。



健文労組 千田代議員

厚労省よ認めなさい!

イレッサは肺がん治療薬(2002年に日本が最初に承認した、米国は既に使用中止しているが、日本は未だに使用している)だが、発売以来、2010年9月までに900人以上が死亡している。何故中止しないのかと怒りを述べました。11月15日に判決があるので、署名をお願いしたい。



都教組練馬支部 鈴木代議員

教育は死なす!

教育の成果がすぐに見つけることが出来ないという事が当たり前の教育現場に、すぐに

結果を求められることが非常に多い今の教育現場がある。今の教育現場における困難(勉強第一、結果第一主義に打ち勝つこと)に勝つ、財界、大企業が求める二握りのエリートを育てる側に教師が立つのか、そうでない側、即ち、自分達が主権を握り「みんなの幸せをみんなで創って行く子」を育てる側に立つのかということの軸がぶれない様に頑張っていきたい。



東京土建練馬支部 鎌田代議員

若いリーダーを育てる

PAL(発言し、行動するリーダー)は3人で、スタートした組織だったが、今では2000人になりました。この要因としては、「7・25仕事をよこせ怒りの集会」を成功させたことにあります。

若い人が、この種の仕事に入ってくるために、PALが労働運動の先頭に立つていい運動を創って行きたいと考えます。共に頑張りましょう



都教組練馬支部 吉川代議員

原発を子どもに教える

教師の中で子ども達に、原発をどう教えるか、放射能からどう守るかの議論が高まる中、3・11以前、既に、原発や放射能を研究している団体(「ノンちゃん」の原子力本当の話)を出版)がありました。それだけ重要なことです。管理職の中には、騒ぎ過ぎたという人がまだいる。教師は学校の中では動きにくいですが、市民の中に入ったときは、自由に動いて、原発の何たるかを、子ども達に伝えて行きたい。

未組織を組織せよ!!

CU東京の組合員が発足以来300人に増大したことを報告し、これから更に、組織を拡大していくには、正規の労働者をどれだけ労働組合に取り込むかが、一つのポイントに成ってくる。と述べ、TPPに参加することにより、利益追求一辺倒のアメリ力型の労働法制(アメリカ力では、労働者の過半数が組合に参加しないと組合として成立しない)が導入され、一人でも組合に加入すれば、団交等が可能となる日本の労働法が改善され、労働組合が解体されてしまう。未組織労働者の組織化は急務である。



CU東京練馬支部 市瀬代議員

医療をまもれ!

医師、看護師の圧倒的不足により、十分な医療体制を敷くことが困難であること、更には、一人一人の労働者のウエイトがどんどん増えている切実な現実があることを訴え、最後に、こつした現実を打破する為、共に頑張りましょうと発言しました。



大泉生協病院労組 小沢代議員



練馬労連 伊藤事務局長

最後に伊藤事務局長が、8人の発言にコメントを加えながら、国都、区の悪政から労働者国民の生活を守る為に頑張りましょうとまとめを行ないました。

新しい役員は次号で紹介します。事務局次長、常任幹事、会計監査への立候補を受け付けています

